

第127期定時株主総会 質疑応答要旨

2022年6月28日(火)開催の第127期定時株主総会に関し、事前または総会当日に株主様から頂戴したご質問・ご意見とそれらに対するご回答の要旨を掲載いたします。

Q1 (事前質問)	株価低迷は、プライム市場上場維持基準充足のための株式売却が要因ではないか。株価対策として自社株買い、消却など必要ではないか。
A1	当社は、金融機関や事業法人が保有されている株式の売却について、株価に影響が出ないように売却をお願いし、1年間で約3%の流通株式比率の改善が見られました。 株価については株式市場環境などの外部要因もあり、言及は差し控えさせていただきます。 株価対策としての自己株式の取得や消却は、流通株式比率に影響を及ぼすことから慎重な判断が必要と考えています。
Q2 (事前質問)	女性管理職を増やす考えはあるのか。
A2	当社は、多様な人材の活用に向け、女性活躍推進を積極的に進めており、採用の強化や事務職から総合職への職種転換等を通じて優秀な人材の確保を図るとともに、柔軟な働き方を支援する制度の拡充を図っています。 また、将来的に経営の意思決定に関わる女性社員の育成に向けた施策を実施し、2024年4月1日時点には管理職に占める女性比率3%以上を目指しています。
Q3 (事前質問)	水泳のスポンサーになっているが、日本女子ゴルフなど他のスポーツのスポンサーも考えてはどうか。
A3	当社製品の床材をきっかけにご縁があり、競泳日本代表のオフィシャルスポンサーを務めていますが、水泳競技に限らず、スポーツの振興に貢献していきたいと考えています。世界で活躍する日本人選手が増えることは、日本社会にとっても素晴らしいことであり、当社がどのようなかたちで支援、貢献ができるか継続的に情報収集してまいります。

Q4 (事前質問)	環境問題でプラスチックのイメージが悪くなっているが、プラスチックのリサイクルプラントを作るなど、社会的アピールが必要ではないか。
A4	<p>生産時の省エネ、リサイクル材、バイオマス由来の原料や生分解性樹脂等の使用、耐久性の高い製品の提供など、環境配慮型製品の開発による環境負荷低減を推進しており、使用済み製品の回収やリサイクルに関する活動についても、社内・社外を問わず積極的に参画、検討を進めています。</p> <p>例えば、米国ではPETボトルにラベルを装着したままでのリサイクルが容易になるBONPET ReNewを開発し、ブランドオーナーから多くの引き合いを受けています。</p> <p>また、「水辺のクリーンエイド」という名称にて、全国各地の海岸・河川・湖などの水辺を清掃するボランティア活動を2019年度より開始しています。2022年度の参加人数は1,000名以上を目標としており、すでに数百名の参加実績があります。</p> <p>以上のような取り組みを継続するとともに、適時適切な公表・アピールにより当社事業や各種取り組みについてステークホルダーの皆様のご理解を深めていくことも重要な経営課題であると認識しています。</p>

Q5 (事前質問)	社外取締役候補者も多数の株式を所有しており、完全に利害関係が無いといえるのか。
A5	<p>当社では、社外取締役も原則役員持株会に加入することとしており、株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを意図しています。</p> <p>なお、再任の社外取締役候補者においては、当社社外取締役に就任して以来、独立した立場から積極的に発言いただいております。社外取締役として当社の適切な経営の意思決定と監督の遂行に貢献いただいております。</p>

Q6	流通株式比率35%を充足するため、伊藤忠商事(株)に対し保有する株式売却を要望したのか。要望していないなら、その理由を教えてください。
A6	<p>当社は、東京証券取引所に提出した「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況」に記載のとおり、事業法人等が所有する当社株式および持合い株式の縮減に向けた交渉を順次進めており、この1年で3%改善するに至っています。引き続き、2025年3月末までに上場維持基準を充足させるための取り組みを進めてまいります。</p>

Q7	今年賃金は正社員とアルバイトで何%上げたのか。
A7	<p>当社は、世間水準と同水準の定期昇給を実施するとともに、業績連動に応じた報酬（賞与）制度を導入しており、業績向上に向けての社員のモチベーションにつながっていると考えています。</p> <p>なお、正社員、再雇用を含めた嘱託社員（契約社員）の労働条件については、同一労働同一賃金のガイドラインに従い決定しています。</p>

Q8	コロナ前と現在における利益水準の違い、円安の業績への影響を教えてください。
A8	<p>コロナによる当社業績への影響は軽微なものであったと判断しています。しかしながら、昨年からの原料価格高騰はもうしばらく継続するとみており、この影響は2022年度の業績見通しにも反映されています。</p> <p>また、円安につきましては現時点においてトータルでは業績への大きな影響はないと判断していますが、引き続き状況を注視してまいります。</p>

Q9	ビニールハウスの被覆資材「バツグン5」など、作業がしやすい折り方になっているのは、いつも感謝している。屋根のフィルムにおいて、つづら折りの始まりが終わりに目印があるとよりスムーズに展張作業ができるため検討してほしい。
A9	<p>日頃より当社製品をご愛顧賜りありがとうございます。</p> <p>また、今後の商品開発に際し、貴重なご意見大変ありがとうございます。引き続き変わらぬご支援とご鞭撻をたまわりますようお願い申し上げます。</p>

Q10	YouTube のアカウントは、どのような目的で開設したのか。今後、活用していく予定はあるのか。
A10	<p>YouTube は、幅広い層の皆様にご理解を深めていただくため、広報や企業広告の配信ツールのひとつとして活用しています。</p> <p>今後も、ご視聴いただく皆様の利便性を鑑み、YouTube に限らず SNS を活用したコーポレート・コミュニケーションを行ってまいります。</p>

以上